

2008年 花果神使用試験結果報告



試験の目的

平成14年 販売開始



当初のターゲット:イチゴ・トマト

顕著な効果は見られるが、量が出なかった。



果樹での需要拡大を図る
(一作での使用量が多いため)

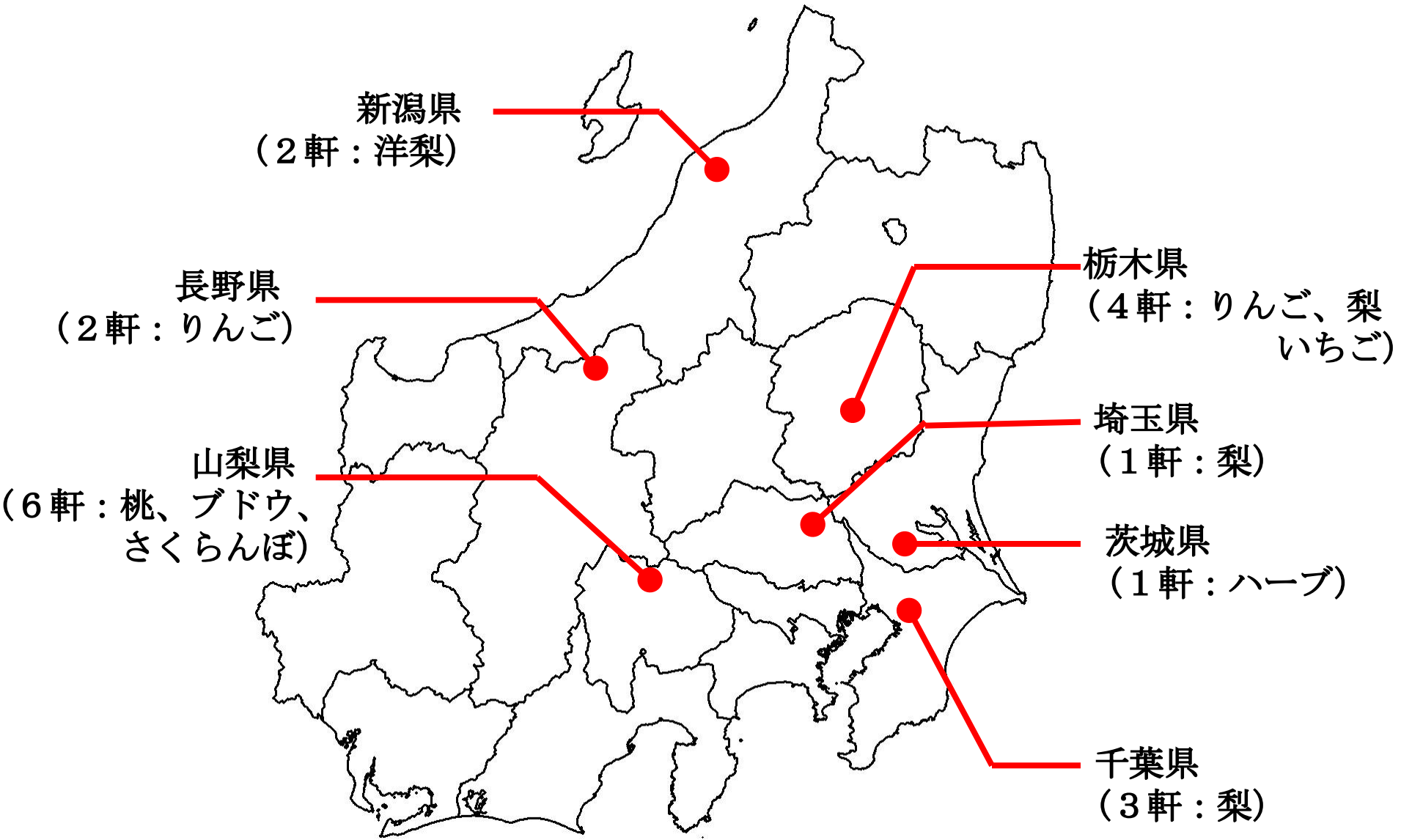


果実の味、見た目など、
果樹農家の品質向上に寄与する



2008年 花果神モニター試験地

国土地理院承認 平14総複 第149号



作物別 花果神使用暦①

【梨】

品種	4月			5月			6月			7月			8月
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬
新高		果肉細胞分裂期			果実肥大期								
豊水		開花期									花芽分化期(えき芽)		
幸水					花芽分化期(短果枝)						花芽形成期→		
花果神 使用時期	○			○			○			○			○

梨之施用時期 1.開花前 2.果肉細胞分裂期 3.果實肥大前期 4.果實肥大中期 5.果實肥大後期

【洋梨】

品種	4月			5月			6月			7月			8月
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬
ル・レクチェ		果肉細胞分裂期			果実肥大期								
		開花期									花芽分化期(えき芽)		
					花芽分化期(短果枝)						花芽形成期→		
花果神 使用時期	○			○			○			○			○

【桜桃】

品種	4月			5月			6月			7月			8月
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬
佐藤錦							生理落果						
高砂				開花期						収穫期			花芽分化期
花果神 使用時期			○		○		○			○			○

作物別 花果神使用暦②

【桃】

品種	3月			4月			5月		6月		7月		8月		9月
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬
加納岩白桃				果肉細胞分裂期					硬核期		果肉細胞肥大期				
	花粉・胚珠形成			開花期			生理落果				花芽分化期		雄しべ雌しべ形成		
花果神使用時期	○		○						○		○	○			○

桃之施用時期: 1.花粉胚珠形成初期 2.花粉胚珠形成後期 3.生理落果期 4.硬核期

【ブドウ】

品種	4月			5月			6月			7月			8月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
甲斐路 巨峰 ピオーネ							果肉細胞分裂期			果肉細胞肥大期					
	がく片・花冠・雌しべ・雄しべ形成						開花期		花芽分化期(第1～第4花穂まで)						
花果神使用時期				○			○	○		○			○		○

葡萄之施用期 1.萼片花冠雄雌花形成期 2.花芽形成期 3.開花期 4.果肉細胞分裂期 5.果肉細胞肥大期

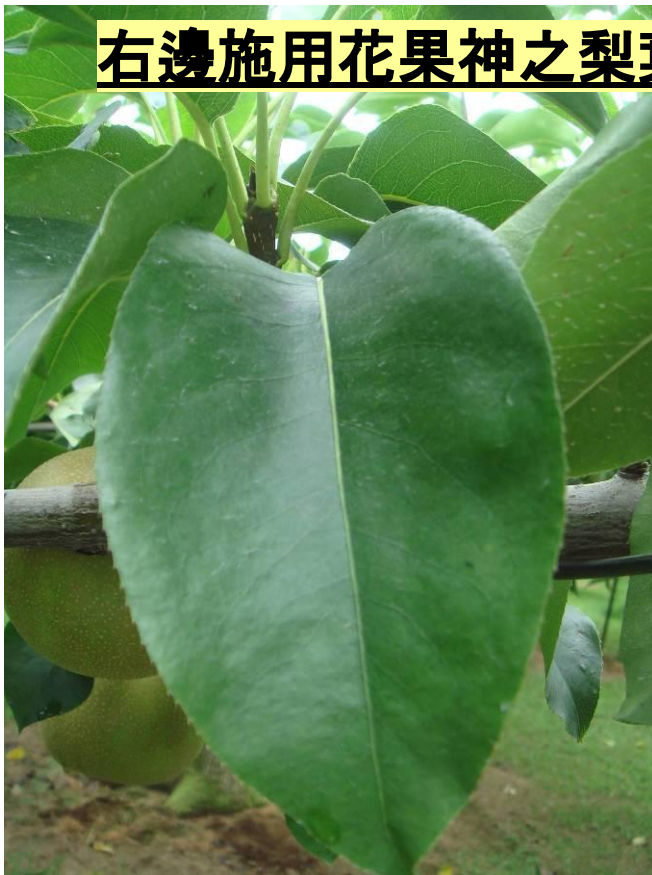
【りんご】

品種	4月			5月			6月			7月			8月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
ふじ				果肉細胞分裂期			早期落果(ジュエードロップ)			果肉細胞肥大期 →					
	花粉・胚珠形成			開花期						花芽分化期			雄しべ雌しべ形成		
花果神使用時期				○			○	○		○					

花果神在蘋果之使用時機: 1.花粉胚珠形成期 2.果肉細胞分裂期 3.生理落果期 4.果肉細胞肥大期

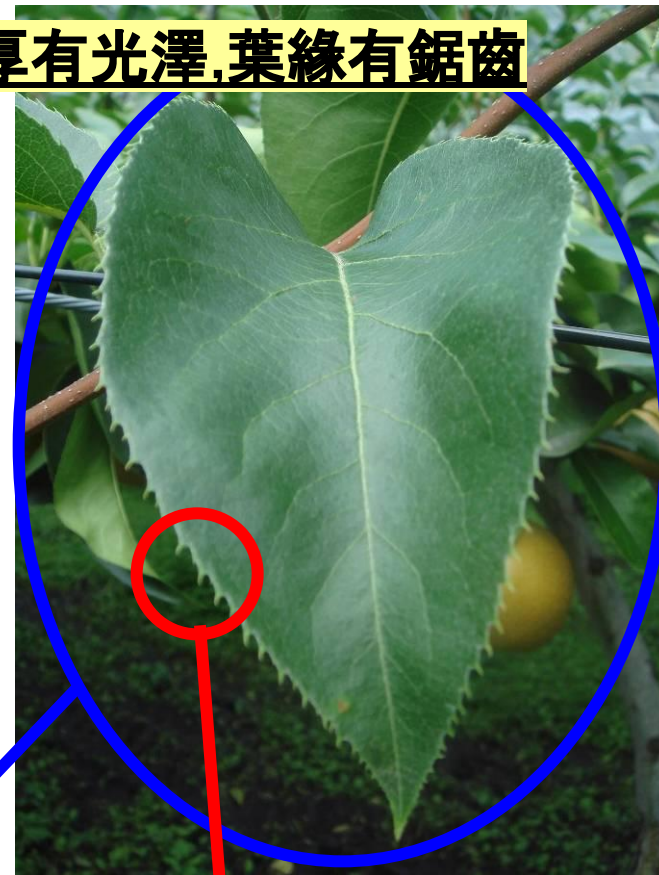
使用者の声 ① 葉の形状

右邊施用花果神之梨葉呈舟形,葉片厚有光澤,葉緣有鋸齒



対照区

舟底形(反り返る形)で
厚みがある

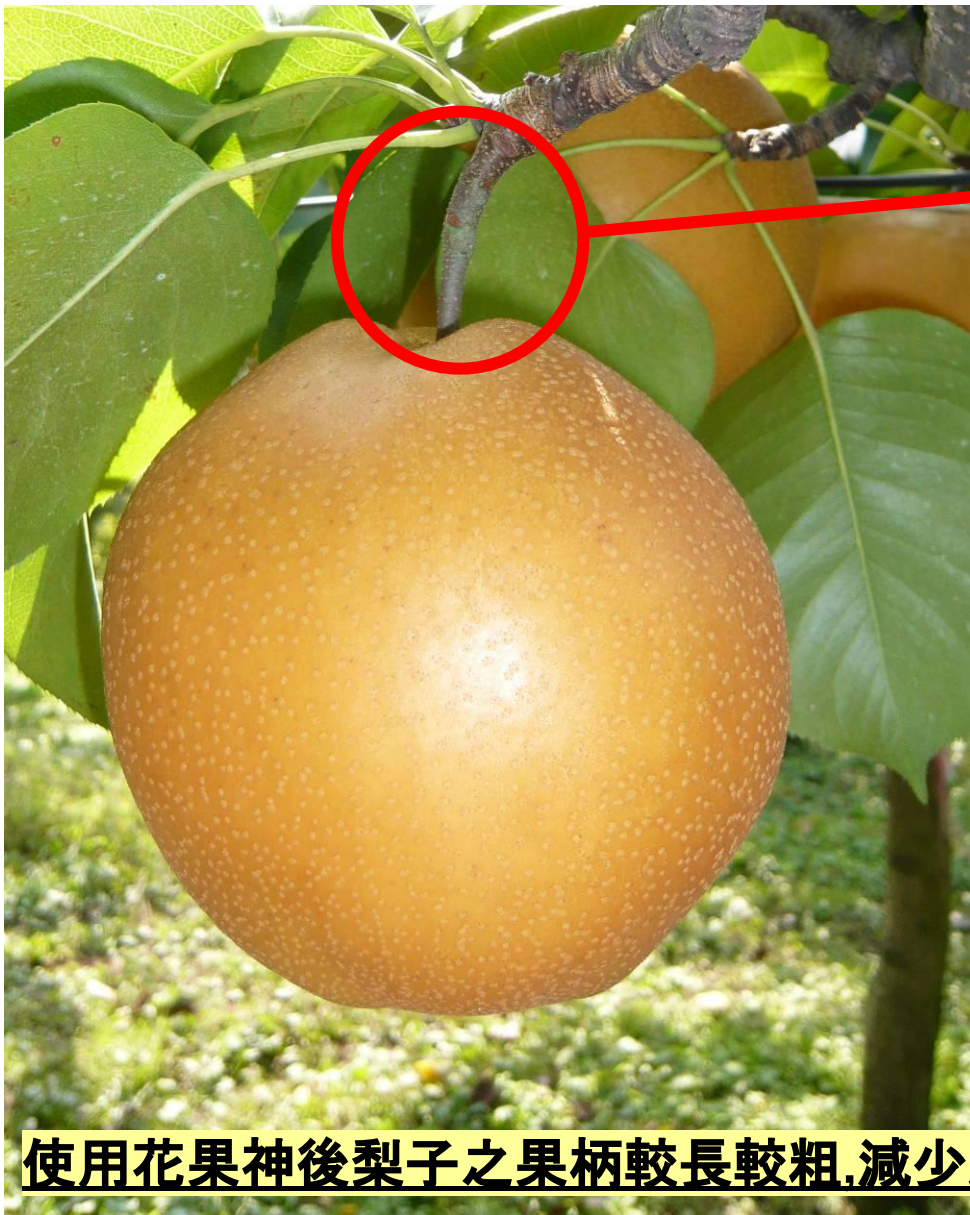


施用区

葉のエッジが立っている

使用者の声 ②

果梗の長さ



果梗(果実の柄)の軸長が太く長くなる事例が多い。

梨などの大玉品種で、生育後期の生理落果が減少した。

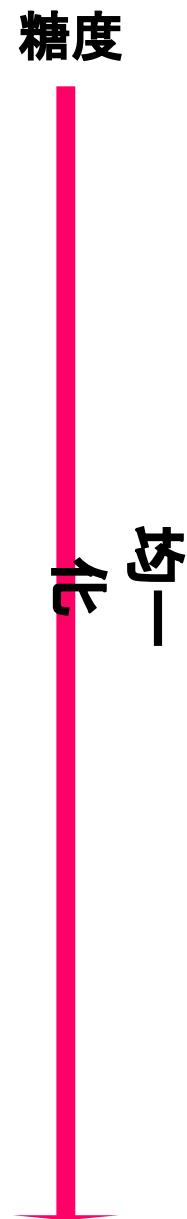
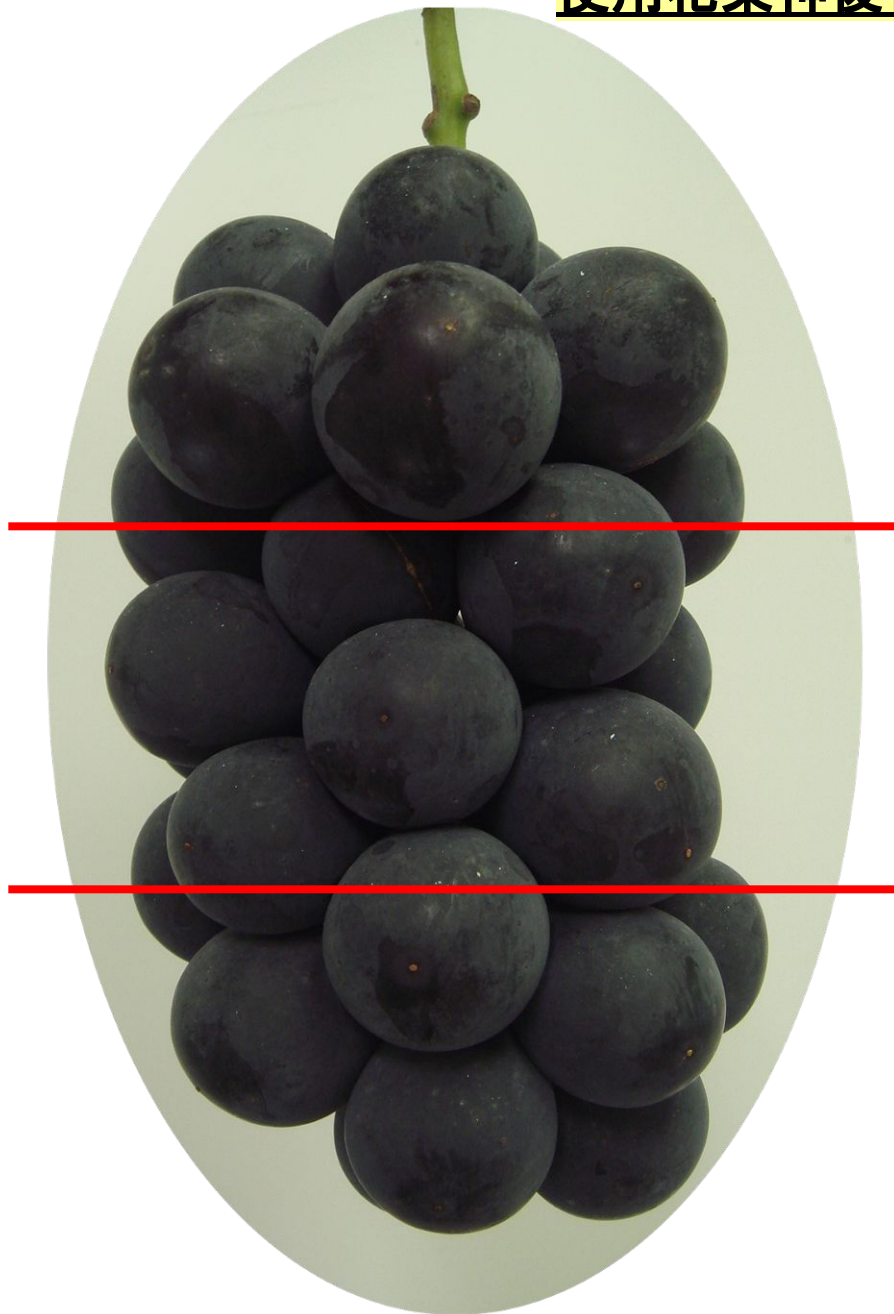
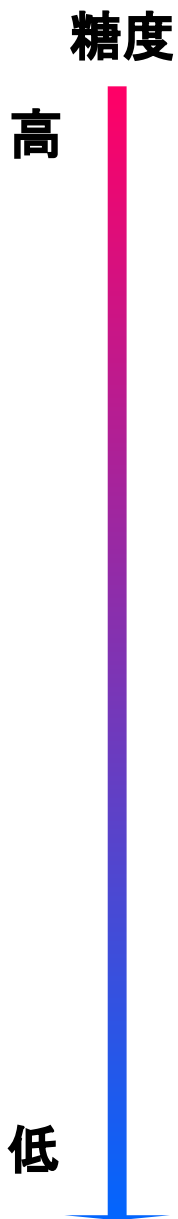
使用花果神後梨子之果柄較長較粗,減少大形梨果品種生育後期之落果

使用者の声 ②

糖度

使用花果神後葡萄之糖度上下一致

花果神未使用



花果神使用

使用者の声 ③

栃木県 イチゴでの事例

生産地 : 栃木県 壬生町
栽培品種 : とちおとめ
作付面積 : 70 a
使用ハウス : 4棟 20 a



草莓農在2008年2月下旬發現如上圖之植株衰弱果實小不紅產量少之情況,故於11月以花果神每10日噴施一次,結果改善

08年2月下旬撮影

発生事例

例年2月後半頃は、樹勢の低下が見られ、収穫量が若干減少し、果実のサイズが小さくなる傾向にある。

対処方法

花果神Lを11月頃より10日に一回の間隔で煙霧機で撒布

使用後の状況

葉にツヤが出た。
形が舟底型になった。

→理想的な受光体勢



草莓使用後葉片呈舟形,光合作用效率高,收量增加,品質改善

実成りが改善された。
成り疲れが減少した。

→収量増、品質改善



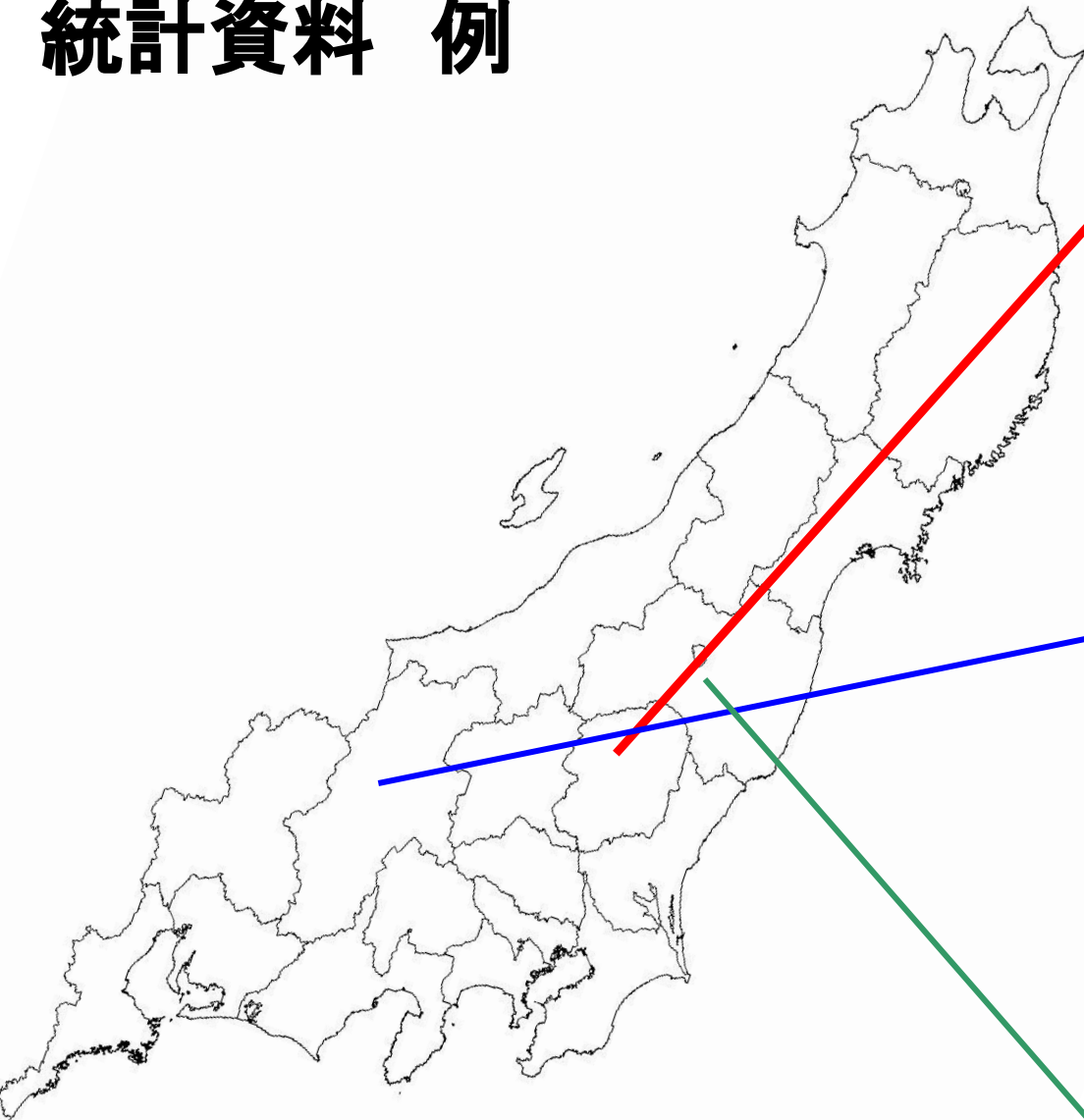
使用者の声 ④ その他

- ・収穫までの玉ごとの生育、着色のずれが減少した。(桜桃、桃)
→桜桃では収穫時期が同時になり、収穫が追いつかなかった。
- ・蜜の乗り方がよくなった。(りんご)

農民覺得生育初期氣候不順時效果明顯經過2年之試驗是必須品會繼續使用,桃子之採收期較一致,蘋果蜜較多

- ・「悪くはない」という感想だが、顕著な効果は見られにくかった。
→生育初期に天候の変動が例年に比べ大きく、全体的に生育が良好ではなかった。
二年目以降も試験し、継続使用による効果の証明が必要である。

統計資料 例



いちご

栃木県	647ha
潜在需要	:6500箱
売上試算	:5200万円

りんご

長野県	8340ha
潜在需要	:33400箱
売上試算	:2億6700万円

キュウリ

福島県	920ha
潜在需要	:5500箱
売上試算	:4400万円

花果神のセールス☆ポイント

開花前絶対必須以1罐15cc稀釋至100至250公升水(10,000X-16,000X) 施用後10-14天花盛開,葉變舟形,果柄拉長,果實肥大,著色良好,耐儲藏,品質提高,產量增加

撒布方法→100~250Lに一袋
農薬との混用可能!

特に 開花前の撒布は絶対必須!!

- ①撒布後10~14日の花の大きさ・数
- ②葉のツヤ・形 (ツヤが出て、舟底型)
- ③果梗の長さ・太さ (長くて太い!)
- ④果実肥大・日持向上・着色良好

花は鮮やか! 実は艶やか!
食べればジューシー間違いなし!
(品質向上・収量増加期待特大!)